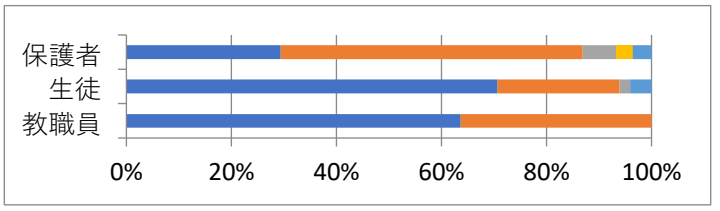
令和４年度　学　校　評　価

そう思う　どちらかといえば、そう思う　どちらかといえば、そう思わない　そう思わない　わからない

①いのちを大切にする心の教育の充実といじめや不登校への細やかな対応

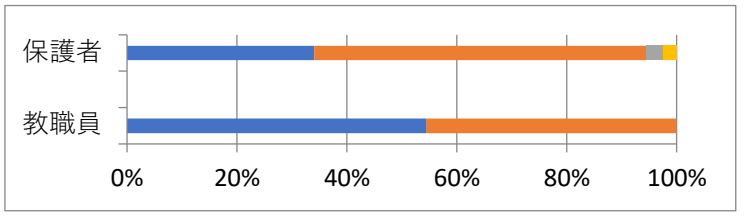
1　一人一人の児童生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にした指導や対応ができていると思いますか。



2　道徳・心の教育の充実

学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）

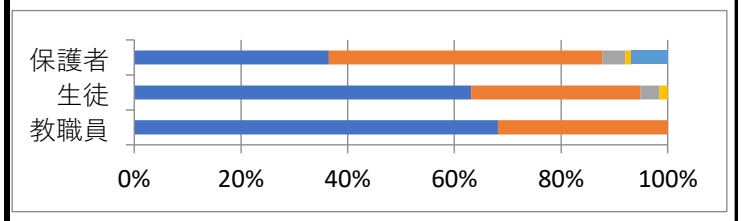


【考察】保護者評価において、「学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思うか」の項目で、「そう思う」「どちらかと言えば、そう思う」の合計が９４．４％と、全項目の中で一番評価が高かった。家庭での子供達の姿から、本校の道徳教育・心の教育に一定程度の信頼は寄せられていることが伺える結果であると考える。

②確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進

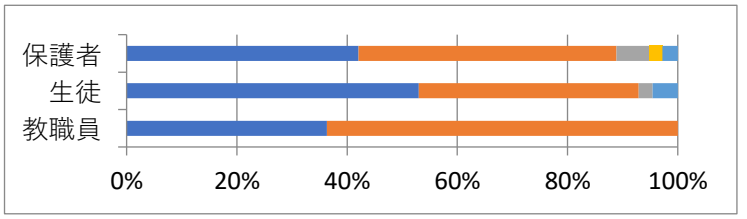
3　授業力向上

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



4　タブレット端末活用

子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。

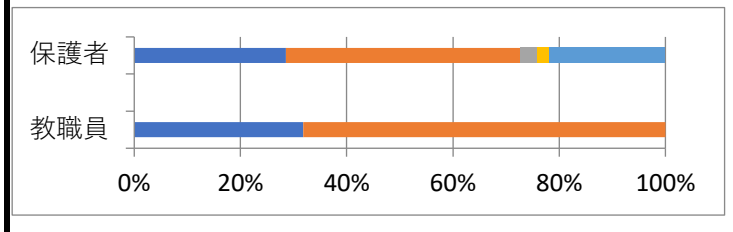


【考察】「先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思うか」という項目で、保護者の「わからない」という回答が、１３．８％と比較的高い。コロナ禍の影響で、授業参観の機会が減少していることが理由の一端として考えられる。

③教員が子どもと向き合うための体制の整備

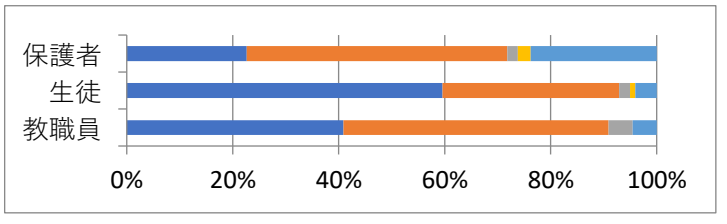
5　学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

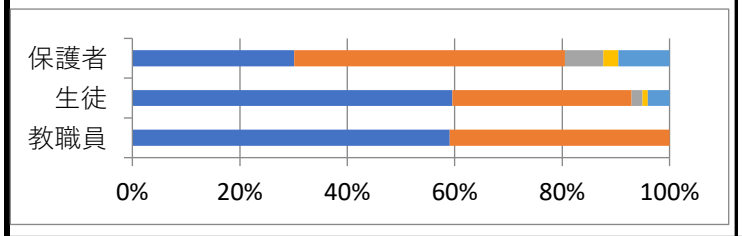
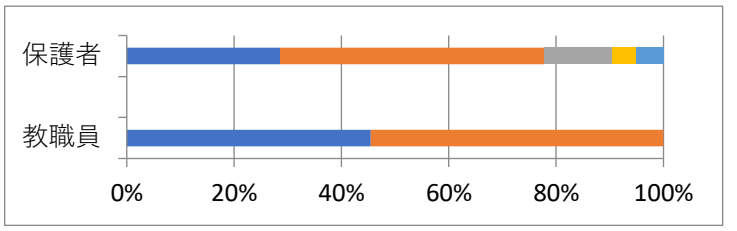


6　共生社会を担う人材の育成

学校が行っている「交流及び共同学習」等は、相互理解につながっていると思いますか。



【考察】保護者評価における「わからない」の割合が、「支援を必要とする子どもの教育についての共通理解を図っていると思うか」で２１．８％、「交流及び共同学習は、相互理解につながっていると思うか」で２３．８％と抜きん出て高い。本校の特別支援教育の取組や意義をもっと発信していく必要がある。

④　学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進	
7　安全と事故防止	8　家庭や地域との連携協力
学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。
	
【考察】「学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思うか」の「そう思う」「どちらかと言えば、そう思う」の合計が、昨年度８６％から今年度７７．８％へと減少が目につく。コロナ禍の影響で、家庭や地域との目に見える連携・協力が十分に図れていないと受け止められている事が考えられる。	

④　学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進	
9　他者のために進んで働く態度（学校独自）	
子どもたちは、自分にできることを考え、みんなのために進んで行動したり働いたりできていると思いますか。	
【考察】「自分にできることを考え、みんなのために進んで行動したり働いたりできていると思うか」では、子供達自身の「そう思う」の割合が３７．４％と、この項目だけ他項目より明らかに低い。上げていくべく更に指導を行う必要がある一方、子供たちが冷静な評価を行いながら、３人に１人の子が「できている」と自信を持てている状況は、正当に評価したいと考える。	

来　年　度　の　具　体　的　な　取　組　に　つ　い　て

〇アンケート結果から、ここ三年続いたコロナ禍による保護者への学校公開が十分に行えていない影響が表れていると考えられる項目も多い。アフターコロナの状況を見据え、保護者の学校来校の機会を以前のように増やしていくことを検討するとともに、教育活動や子供達の様子の発信に関するホームページやＳＮＳ等も含めた工夫について、研究していく必要がある。

〇二年前のタブレットの一人一台導入、昨年度から取り組んだ社会科全国大会公開授業校としての取組、そして、コロナ禍による教育活動への影響等、ここ数年子供たちに影響を及ぼす環境の変化は大きいものがあった。ＩＣＴ活用も定着が進み、公開授業を終え、アフターコロナが見えてきた現状の下、職員で功罪を見極め、成果と課題を整理し、職員皆で更なる伸長や改善に取り組んでいきたい。

学　校　関　係　者　評　価

(社会科全国大会における６年生の授業の様子をビデオで見て、）遠い海外の国のことを自分の問題として捉えて、調べたことを基に、堂々と自分の考えを発表出来ている姿はすばらしい。自分が学んでいた頃のことを思い起こすと、全く違う。これまで積み重ねて築き上げてきたこういった子供たちの学びの姿を、これからも大切にしてほしい。